

【法学部(法律・政治学科)】クラス授業以外で履修できる4群外国語選択科目

*2016年度以前入学者

【連続】:前年度までに履修して単位を取得した科目を今年度もう一度履修すること

【重複】:同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること

【代替】:特定の科目の代わりとして履修すること

【充当】:科目を限定せずに必修として必要な単位数を充足すること

※定員は目安です。受講許可は教員の判断によります。定員に満たない場合でも選抜を行う可能性があります。

※必修科目の代替として履修する場合は、代替したい科目名の登録番号を履修登録画面で選んで登録すること。

	科 目	単 位	定 員	履修年 次	連 続	重 複	摘 要 (注1)
英語	英語オール・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	○	○	英語必修単位に代替することはできない。 重複履修可だが、同一教員の同科目の授業を重複履修することはできない。
	英語ビジネス・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	○	○	
	英文ライティングⅠ／Ⅱ ※2018年度をもって閉講	各1	24	1～4	○	○	
	英語アカデミック・ライティングⅠ／Ⅱ	各1	20	1～4	○	○	
	マスメディアの英語Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	○	○	
	映画で学ぶ英語Ⅰ／Ⅱ ※2020年度をもって閉講	各1	36	1～4	○	○	
	英語リーディング・ワークショップⅠ／Ⅱ	各1	36	1～4	○	○	
	英語検定試験対策Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	○	○	
入門英語Ⅰ／Ⅱ (SSI所属学生のみ履修可)	各1	48	1～4	○	○	英語必修単位に充当可	
ドイツ語	ドイツ語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	20	2～4	○	×	ドイツ語3、ドイツ語4重点、 ドイツ語5重点に代替可
	ドイツ語表現法Ⅰ／Ⅱ	各1	20	2～4	○	×	
	ドイツ語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	○	×	
	時事ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	○	○	
	検定ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	○	×	
	スポーツ・ドイツ語Ⅰ／Ⅱ (SSI所属学生のみ履修可)	各1	30	1～3	○	○	ドイツ語1～4のいずれかに代替しなければならない
フランス語	フランス語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	30	2～4	○	×	フランス語3、3重点、4重点、5重点に代替可
	フランス語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	×	×	フランス語2に代替可
	フランス語視聴覚Ⅲ／Ⅳ	各1	30	2	×	×	フランス語3、フランス語3重点、 フランス語4重点、 フランス語5重点に代替可
	時事フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2	×	×	
	検定フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	○	○	
	情報フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2	×	×	
中国語	中国語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	20	2～4	○	×	中国語3、中国語4重点、 中国語5重点に代替可
	中国語表現法Ⅰ／Ⅱ	各1	15	2～4	○	×	
	中国語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	35	2～4	×	×	
	検定中国語Ⅰ／Ⅱ	各1	40	2～4	×	×	
スペイン語	スペイン語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	30	3～4	×	×	スペイン語3、スペイン語4重点、 スペイン語5重点に代替可
	時事スペイン語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	×	×	
朝鮮語	朝鮮語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	30	2～4	×	×	朝鮮語3、朝鮮語3重点 朝鮮語4重点、朝鮮語5重点に代替可
	朝鮮語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	×	×	
	朝鮮語講読Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	×	×	代替不可
	朝鮮語表現法Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	×	×	

(注1)必修外国語の再履修(代替)についての詳細は、「4群(外国語科目)再履修ガイド」を確認してください。

【代替】について

必修科目の代替として履修した場合、各種証明書・通知書では、「○○語4Ⅰ」のように必修科目の科目名で表記されます。

(例)スペイン語講読Ⅰを履修し、スペイン語4Ⅰに代替した場合:各種証明書・通知書では、「スペイン語4Ⅰ」と記載されます。代替しない場合は「スペイン語講読Ⅰ」という科目名で記載されます。

【充当(入門英語のみ)】について

充当科目は、各種証明書・通知書では、そのままの科目名で記載されます。

(例)「入門英語Ⅰ」を履修し、英語必修単位に充当した場合、各種証明書・通知書には、「入門英語Ⅰ」と記載されます。

【連続・重複】について

「×」となっている科目は、必修科目の代替で特定の科目として履修した場合であっても、代替しない場合の4群外国語選択科目名が同じである場合は履修不可となります。

(例:連続)前年度「フランス語視聴覚Ⅰ」を「フランス語2Ⅰ」に代替して履修し、当年度「フランス語視聴覚Ⅰ」を代替しない場合で履修することは不可。